

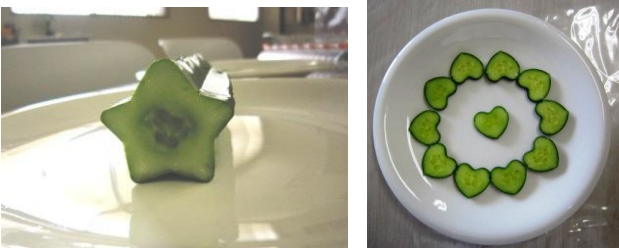
食育ソムリエコーナー

☆☆☆☆☆ 《こどもソムリエ》企画 ☆☆☆☆☆

しよいか〜ご習志野店 食育ソムリエ：岡井 富美

7月16、17日に開催したこどもソムリエで、子供達と一緒にお店にもきゅうりの苗をプランターに植えました。今回は、その植え方や育っていく過程を報告致します。

今年の夏は猛暑。きゅうりにとってベストな湿度は70〜80%、成長の鍵は十分な水分。水をあげられない日休日はきゅうりを苦しめました。それでも元気にきゅうりは育ち、3本の苗から約20本の実を収穫しました。また、星型やハート型の枠をつけて、どんな実になるか実験してみました。きゅうりの上半分はなんとか枠に入りましたが、残り半分は今までの不自由をとりかえす様に、大きくはみ出してしまいました。★、♥のかわいい浅漬けが出来上がり、美味しく頂きました。



とうとう葉が枯れ、9月5日には苗を抜きました。ただ1本だけ元気だった苗はお店の玄関に飾りました。あまりの枯れぶりに、生産者の方から救いの手が届きました。9月8日ご自分の畑から、新しい苗を持って来て下さいました。



9月20日になり、新しい苗にも赤ちゃんきゅうりが成りました。同じ畑からとれた生産者の方のきゅうりは、もう収穫、袋詰めされてお店に並んでいました。常に観察し、適切に対応し、どこを切って、どこを残すかを考えるのが楽しくて仕方ない、と言われていました。

九十九里方面では、9月に種をまいて促成栽培し、11月から5月にかけて1本の苗から100本のきゅうりを収穫することも可能なのだそうです。

収穫した野菜や果物は生産者の方の日々のご苦労と知恵の賜物。

これからはどうやって育ったのかを想像しながら美味しく頂いていきたいです。